

会 議 録

1 会議名

令和 8 年度第 4 回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（１）会長報告

（２）委員報告

（３）事務局報告

上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について

・自主的な審議（公開）

（１）自主的審議事項について

消火栓使用の在り方と有効活用について

若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について

尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について

（２）その他

AI 活用による会議録要約方式への移行について

源地域生涯学習センターの今後の取扱について

4 その他（公開）

・次回地域協議会日程について

・その他

5 開催日時

令和 8 年 7 月 16 日（木）午後 6 時 30 分から午後 9 時 08 分まで

6 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3 階 大会議室

7 傍聴人の数

0 人

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

委員：山岸会長、薄波副会長、太田委員、大滝委員、斉藤委員、関澤委員、
田中委員、新部委員、橋爪委員、武藤委員

事務局：吉川区総合事務所 岩野所長、山本次長、丸山教育・文化グループ
長、宮下市民生活・福祉グループ長、吉村地域振興班長、道場副主
幹、熊木総務班長、五十嵐教育・文化班長
資産活用課 竹下課長、社会教育課 加藤参事、スポーツ推進課
石田課長、高橋係長、五十嵐防災危機管理部長、危機管理課 竹内
課長、松永副課長

9 発言の内容（要旨）

【議題（会長報告）】

■ 説明

- ・ 会長から、頸北4区地域協議会正副会長会議に出席した旨の報告があり、合同研修会の開催予定や地域自治推進プロジェクトの進捗状況の説明を求めることなどについて説明された。
- ・ このほか、スマイルミーティングと公共交通懇話会の報告があり、会議の内容や協議事項などが委員へ紹介された。

■ 質疑応答

- ・ 特段の質疑なし

【議題（委員報告）】

- ・ 斉藤委員から、吉川区青少年育成会議の体験活動部会に出席した旨の報告があり、今年度実施する活動として福祉まつりのボランティア体験と道の駅の緑地広場を会場とするキャンプを計画していることが説明された。
- ・ また、新部委員からは、吉川区青少年育成会議教育支援部会と長峰城見学会の報告があった。

■ 質疑応答

- ・ 特段の質疑なし

【議題（事務局報告）：上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について】

て】

■ 説明

- ・ 資産活用課及び施設所管課等から、公共施設等総合管理計画に基づき、公の施設の適正管理及び使用料の見直し案について説明があった。
- ・ 見直しの対象は、市内 223 施設のうち 220 施設であり、吉川区では 12 施設が適正管理の見直し対象、8 施設が使用料見直し対象であることが説明された。
- ・ 適正管理の内容として、開館時間の短縮、休館日の設定・増加、予約制の導入、管理形態の変更等を実施する方針が示された。
- ・ 使用料については、利用者負担の適正化を図るため、既存使用料を基準として見直しを行い、原則 100 円単位で整理する考え方が説明された。
- ・ 主な見直し内容として、小中学校体育館、コミュニティプラザ、社会教育施設、吉川体育館、吉川野球場及び吉川テニスコートの開館時間、休館日及び使用料の変更案が示された。
- ・ 今後のスケジュールについて、利用者説明や地域協議会での意見聴取を経て最終案を確定し、市議会 12 月議会への条例改正提案、翌年 4 月施行を目指すことが説明された。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：コミュニティプラザの日曜休館について、利用実態に基づくものなのか確認したい。
→ 回答：利用状況を検討した結果、平日や土曜日と比較して日曜日の利用が比較的少なく、利用者への影響が最も小さいと考えられるため、日曜日を休館日として想定している。
- ・ 質問／意見：源地域生涯学習センターや旭分館等の年末年始休館について、地域利用に支障はないのか。
→ 回答：利用実績等を踏まえた見直しであり、年末年始の利用需要は限定的であると認識している。
- ・ 質問／意見：使用料を 1.1 倍又は 1.2 倍とする根拠が分かりにくい。ど

の平均を基準としているのか。

→ 回答：施設種別ごとに現行の使用料の平均額を算出し、その額に 1,000 円以上の場合は 1.1 倍を、1,000 未満の場合は 1.2 倍を乗じて設定している。

- ・ 質問／意見：1.2 倍とは吉川の施設だけが対象なのか。

→ 回答：吉川だけではなく、市全体の施設に共通する考え方である。

- ・ 質問／意見：野球場やテニスコートの利用開始時間を「日の出から」ではなく「午前 6 時から」とした理由は何か。

→ 回答：利用実態では多くが午前 6 時頃から利用していること、予約システムや施設の管理上、毎日変動する日の出時刻より固定時刻の方が運用しやすいことから設定した。

- ・ 質問／意見：日の出から利用できる現行制度を変更すると利用者が減少するおそれがあるため、現行のままでもよいのではないか。

→ 回答：利用実態や利用者の意見を踏まえながら検討していきたい。

- ・ 質問／意見：夜間利用者が多い施設では、午後 9 時閉館になると活動に支障が出る。利用団体へ十分な説明が必要である。

→ 回答：利用者には個別説明や意見聴取を行っており、最終案はまだ確定していないが、利用者の意見を踏まえながら引き続き検討する。

- ・ 質問／意見：代替施設の少ない地域では、開館時間短縮や料金改定の影響が大きい。若い世代の活動機会が減少しないよう配慮してほしい。

→ 回答：施設の老朽化や維持管理費の増加、人件費上昇などにより、現状のまま施設サービスを維持することは困難な状況である。一方で、利用者への影響をできるだけ抑えられるよう検討を続ける。

- ・ 質問／意見：利用者への説明や協議が不十分うちに制度改正が進むことを懸念している。時間をかけて合意形成を図るべきであ

る。

→ 回答：説明資料の配布や利用者からの意見聴取を進めており、7月から8月にかけていただいた意見を踏まえ、最終案を検討していく。

- ・ 質問／意見：予約施設であることを踏まえ、開館時間の前後利用や休日利用など柔軟な対応を残してほしい。

→ 回答：条例で定める基本的な休館日や開館時間は必要と考えており、引き続き検討する。

- ・ 質問／意見：スポーツを重視する市の方針を踏まえ、競技活動や選手育成に支障が出ないように配慮してほしい。

→ 回答：大会や地域行事などについては、準備時間確保のための早期開館など、これまでも個別相談に応じており、今後も同様に取り組んでいく。

【議題（自主的審議事項）：消火栓使用の在り方と有効活用について】

■ 説明

- ・ 防災危機管理部長から、地域協議会が提出した意見書を受け、市民による消火栓使用について消防局、消防団及びガス水道局と協議を進めていることが説明された。
- ・ 市の考え方として、消火活動には日頃からの訓練の積み重ねに加え、消防資機材の適切な維持管理が不可欠であり、これらが十分に整わない状況では、重大な事故につながるおそれがあるため、市民による消火栓を使用した消火活動は適当でないと整理していたと説明された。
- ・ 一方で、市民が消火栓を使った消火活動を規制する法令等はなく、「自らの地域は自らの手で守りたい」との強い思いに報いるために、安全対策を講じた上で、市民の消火栓使用について検討を進めていることが説明された。
- ・ 安全対策に向けた留意事項等をまとめており、例えば、町内会又は自主防災組織を実施主体とした年1回以上の消火訓練の実施、消防資機材の調

達及び管理は、実施団体が自己の費用と責任において行うこと、資機材点検を年1回以上実施することなどを要件として整理していることが示された。

- ・ 消火訓練実施までの流れを示したフローチャートや申請手続きの整理を進めており、危機管理課を窓口として一括して相談を受け付ける体制を整備する予定であることが説明された。
- ・ 市としては、方針等の整理及び準備が整い次第、改めて地域協議会へ説明する考えが示された。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：地域協議会では、適正な訓練を実施することを条件に市民による消火栓使用を認めてほしいという意見書を提出している。吉川区では以前から町内会と消防団が定期的に訓練を行ってきたが、使用禁止後は点検もできない状況である。地域住民の不安を解消するためにも、できるだけ早く従来のような訓練ができるようにしてほしい。

→ 回答：市民の意向にも応えられるよう、整理、検討を進めている。早期に方針を示せるよう取り組んでいきたい。

- ・ 質問／意見：これまで議論してきたのは、市民による初期消火をどのように実現するかという点である。安全装備を着用し、複数人で訓練を行うなど、常識的な安全対策を前提とした活動が認められるようにしてほしい。

→ 回答：安全装備だけでなく、継続的な訓練や資機材の維持管理が重要であると考えている。そのため、年1回以上の訓練実施や資機材管理などを整理している。

- ・ 質問／意見：実際の火災現場では消火栓が開かなかった事例や水が出なかった事例もある。訓練を通じて設備の状態を確認できるようにしてほしい。また、高齢者や身体の不自由な人も参加できる形で訓練を実施したい。

→ 回答：訓練や手続きの流れを整理しながら、安全かつ確実に実施できるように検討している。

- ・ 質問／意見：地域協議会が提出した意見書の成果として、早期に結論を示してもらいたい。

→ 回答：一日でも早くお示しできるよう努める。整理が整い次第、改めて地域協議会へ説明する。

【議題（自主的審議事項）：若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について】

■ 説明

- ・ 委員から、保育園・小学校・中学校の各担当グループに分かれてアンケート作成を進めていることが報告された。
- ・ 保育園担当から、8 月中にアンケート案を作成し、8 月末に保護者代表へ確認を依頼した後、9 月末を目途にアンケートを実施するスケジュールが説明された。
- ・ アンケートでは、少子化や学校の統廃合、地域における教育環境、防災拠点としての学校の役割などを踏まえ、保護者が望む学びの環境や将来の教育環境に対する考え方を把握したいとの説明があった。
- ・ 小学校担当からは、保護者が回答しやすいようオンラインによるアンケート案を作成していることが説明された。また、誘導的な設問を避け、保護者の率直な意見を把握できる内容とする考えが示された。
- ・ 中学校担当からは、7 月 21 日に次回会議を開催し、アンケート内容をさらに検討する予定であることが報告された。また、統合による教育環境の変化についてさまざまな考え方があることから、慎重に設問を検討する必要があるとの説明があった。
- ・ 会長から、保育園・小学校・中学校それぞれで作成するだけでなく、共通した設問を設けたアンケートとし、保護者や地域住民の率直な意向を把握したいとの考えが示された。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：保育園、小学校、中学校で別々のアンケートを作るのではなく、共通した設問を持たせる考え方でよい。
- 回答：そのとおりである。各担当が共通設問の案を作成し、全体で確認・修正を行った上で、最終的なアンケートにまとめた。
- ・ 質問／意見：小学校担当が作成したアンケート案を、保育園や中学校の担当者も参考として共有してよい。
- 回答：事務局に提出済みであり、ほかの担当グループにも共有して参考として活用してもらってよい。
- ・ 質問／意見：アンケートを実施する前に、保護者代表に内容を確認してもらい意見を反映させる方法で進めてよい。
- 回答：保育園、小学校それぞれの保護者代表に確認してもらい、その意見を踏まえて再度全体で調整する方法で進める。
- ・ 質問／意見：アンケート回答方法については QR コード等を活用した方が回答しやすいのではない。
- 回答：小学校担当ではオンラインによるアンケートを検討しており、回答しやすい方法も含めて今後調整していく。
- ・ 質問／意見：地域に教育施設を残したいという意見と、統合はやむを得ないという意見の両方を把握できるような設問にしてほしい。
- 回答：賛否を誘導するのではなく、保護者や住民の素直な考えを把握できるアンケートとなるよう、共通設問を含めて内容を検討していく。

【議題（自主的審議事項）：尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について】

■ 説明

- ・ 会長から、道の駅よしかわ杜氏の郷において、ボランティア団体による草刈りや樹木管理等の活動を継続していることが報告された。
- ・ 情報発信施設について、空調設備等の整備が進められており、準備が整

い次第、開館に向けた調整が行われていることが説明された。

- ・ 事務局からは、中学生の職場体験で作成したチラシを活用し、情報発信施設の周知を図る予定であることが報告された。
- ・ これまで実施したアンケート結果について、回答者の多くが高齢者層であり、買い物機能やスーパーを求める意見が多かったことが紹介された。
- ・ 一方で、若い世代からは、買い物施設や子どもと過ごせる遊び場が不足しているとの意見が寄せられていることが報告された。
- ・ 緑地の活用については、一部で植栽を行いたいとの提案があることや、道の駅全体の活性化策として、緑地や周辺施設を含めた一体的な活用を検討していく必要があるとの考えが示された。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：情報発信施設について、開館に向けた現在の状況を確認したい。
 - 回答：柿崎区からは、準備が整い次第開館したいとの意向を聞いている。空調設備の整備も進んでおり、開館に向けた準備が進められている。
- ・ 質問／意見：中学生が作成したチラシの活用状況はどうなっているか。
 - 回答：職場体験で作成したチラシを活用し、情報発信施設の利用促進や周知活動を行う予定である。
- ・ 質問／意見：アンケート結果から、地域住民はどのような施設や機能を求めているのか。
 - 回答：高齢者層からは買い物機能を求める意見が多く、スーパーのような店舗への要望が目立った。一方、若い世代からはショッピング施設や子どもが遊べる場所を求める意見が多く寄せられている。
- ・ 質問／意見：観光振興の観点で、地域の強みや集客資源としてどのようなものが考えられるか。
 - 回答：大きな観光資源は限られているが、周辺施設の活用やキャ

ンプ場整備への要望が過去のアンケートでも挙がっている。

今後の活性化策の検討材料としていきたい。

- ・ 質問／意見：緑地の植栽計画について、具体的な内容は決まっているのか。

→ 回答：一部の関係者から自費による土壌改良や植栽の提案があるものの、実施範囲や植栽内容についてはまだ具体化していない。今後の活性化委員会等で検討していきたい。

- ・ 質問／意見：道の駅活性化については、個別施設だけでなく全体構想として検討する必要があるのではないか。

→ 回答：緑地や既存施設を含めた全体的な活用を考える必要があると認識している。今後、活性化会議の中で意見や提案を集約し、活用方策を検討していきたい。

- ・ 質問／意見：周辺道路の景観について、赤く変色した箇所が目立ち印象が良くないとの声がある。

→ 回答：管理上の事情もあるが、そのような意見があることは認識している。状況を確認しながら必要な対応を検討したい。

【議題（自主的な審議・その他）：AI 活用による会議録要約方式への移行について】

■ 説明

- ・ 事務局から、AI を活用した会議録の公開方法として、「標準パターン」と「詳細パターン」の2種類について説明があった。
- ・ 標準パターンは、音声データをAIで文字起こしした後、議題ごとに要約し、さらに全体を簡潔にまとめる形式であり、公開しやすく読みやすい反面、発言内容や数値、具体的な経過等が省略される場合があるとの説明があった。
- ・ 詳細パターンは、文字起こし内容を議題ごとに整理して掲載する形式であり、発言内容や議論の経過が比較的正確に残る反面、文章量が多くなることが説明された。

- ・ 事務局から、市の会議録作成においてはAI活用による迅速な公開が進められており、吉川区地域協議会としても公開方法を決定する必要があるとの説明があった。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：AIによる文字起こし後の修正作業はどの程度必要なのか。
→ 回答：文字起こしの段階で誤字や固有名詞の誤認識、意味の通らない文章が生じる場合があるため、人の目で確認し修正した上で、公開している。
- ・ 質問／意見：標準パターンと詳細パターンで作業負担に大きな違いはあるのか。
→ 回答：どちらもAIを活用して作成する点は同じであるが、標準パターンはさらに要約処理を行うため、内容が削られる場合がある。詳細パターンは、議題ごとの内容をより反映できる。
- ・ 質問／意見：標準パターンでは、重要な数値や具体的な発言内容が省略されるため、実際の議論が十分に伝わらないのではないかと。
→ 回答：詳細パターンは、発言内容をより多く残すことができるため、会議内容の再現性は高くなる。
- ・ 質問／意見：会議でどのような議論が行われたかを正確に伝えるためには、詳細パターンの方が適していると思う。
→ 回答：事務局としても、文字起こし内容を適切に修正した上で公開することで、詳細パターンによる運用は可能であると説明した。

■ 協議結果

- ・ 委員からは、具体的な数値や発言内容が残ること、議論の経過が分かりやすいことなどを理由に、詳細パターンを支持する意見が多く出された。
- ・ 採決の結果、今後のAIを活用した会議録は詳細パターンを採用し、従来どおり地域協議会で内容確認を行った上で、公開することとした。

【議題（自主的な審議・その他）：源地域生涯学習センターの今後の取扱につ

いて】

■ 説明

- ・ 事務局から、源地域生涯学習センターの今後の取扱いについて説明があった。
- ・ 源地域生涯学習センターは、これまで公共施設等の適正配置計画において現状維持として整理してきたが、本年の大雪や施設の老朽化により、校舎棟の安全性に重大な懸念が生じていることが報告された。
- ・ 校舎棟では、屋根材の損傷や天井の落下、床の沈下などが確認されており、利用者が体育館を利用する際にも校舎棟の前を通行する必要があるため、安全確保の観点から対応が必要であると説明された。
- ・ 事務局としては、地域の活動拠点や指定避難所として利用されている体育館は引き続き存続させる一方、校舎棟については除却を視野に入れ、条例に規定されている第1会議室、第2会議室及び工作室を廃止するための手続きを進めたいとの考えが示された。
- ・ 条例改正には、地域協議会への諮問が必要であることから、8月に地域協議会を開催し、事前説明と諮問を同時に実施したいとの要請があった。
- ・ また、12月議会への条例改正案提出を予定しており、教育委員会の案件については、教育委員会の会議にかける必要があり、通常より前倒しで協議を進める必要があることが説明された。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：今回の説明は、これまで現状維持としていた方針を変更するものなのか。
 - 回答：令和6年度に現状維持とした時点では、施設は耐震基準を満たしており継続利用を前提としていた。しかし、その後の老朽化の進行や安全上の問題により、校舎棟部分について廃止を検討する必要が生じた。
- ・ 質問／意見：源地域には生涯学習センターと分館施設があるが、過去の施設見直しとの関係はどうなっているのか。

→ 回答：当初は両施設を貸付又は譲渡する方向であったが、地域の拠点施設を同時に失うことへの懸念から、分館施設は地域へ貸付し、生涯学習センターは市の施設として現状維持することとした経緯がある。

- ・ 質問／意見：今回の見直しでは体育館も廃止されるのか。

→ 回答：体育館は、避難所や地域活動の拠点として重要な施設であり、引き続き存続させる考えである。今回対象となるのは主に校舎棟部分である。

- ・ 質問／意見：地域にとって重要な施設であることから、今後も利用できるように配慮してほしい。

→ 回答：地域の指定避難所や活動拠点としての役割は認識しており、体育館機能は維持する方向で検討している。

- ・ 質問／意見：8月に諮問を行うため、通常は休会としている8月の地域協議会を開催する必要があるという理解でよいのか。

→ 回答：そのとおりである。行政スケジュール上、8月中に事前説明と諮問を行う必要があるため、地域協議会の開催をお願いしたい。

■ 協議結果

- ・ 源地域生涯学習センターの校舎棟に係る諮問案件について、8月に開催する地域協議会で説明及び諮問を受ける方向で進めることを確認した。
- ・ 次回定例会については、8月20日に開催する方向で調整することとした。
- ・ また、消火栓使用のあり方に関する市の方針がまとまり次第、8月上旬に別途会議を開催し、説明を受ける予定であることが確認された。

【議題：その他（次回地域協議会日程について等）】

■ 説明

- ・ 会長から、源地域生涯学習センターの校舎棟に関する諮問案件への対応のため、例年休会としている8月についても地域協議会を開催したいとの説明があった。

- ・ 事務局から、源地域生涯学習センターの校舎棟に係る条例改正手続きを進めるためには、8 月中に地域協議会への諮問を行う必要があり、通常のスケジュールより前倒しで審議を進める必要があることが説明された。
- ・ また、消火栓使用のあり方と有効活用について、市の方針がまとめ次第、地域協議会委員へ速やかに説明する機会を設けたいとの考えが示された。

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：源地域生涯学習センターの校舎棟に関する案件について、8 月の地域協議会で諮問を受けるという理解でよいのか。
→ 回答：そのとおりである。条例改正に必要な手続きを進めるため、8 月中に事前説明及び諮問を行いたい。
- ・ 質問／意見：地域協議会の日程はどのように考えているのか。
→ 回答：8 月 20 日を定例会開催日として調整し、源地域生涯学習センターに関する案件を中心に協議したい。
- ・ 質問／意見：消火栓使用に関する市の検討結果については、定例会を待たずに説明を受ける機会を設けてほしい。
→ 回答：方針がまとめ次第、危機管理課から説明を受けるため、8 月上旬に別途会議を開催する方向で調整する。

■ 協議結果

- ・ 8 月 20 日に地域協議会定例会を開催する方向で調整することを確認した。
- ・ 消火栓使用のあり方と有効活用に関する市の方針が決定した場合は、8 月上旬に別途会議を開催し、危機管理課から説明を受けることを確認した。
- ・ 8 月は定例会と臨時的な説明会の計 2 回の会議を開催する方向で進めることとした。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

Tel：025-548-2311（内線 213）

E-mail : yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。